

【山鹿市の森林状況及び取組状況について】

山鹿市の森林面積は、総面積の約51%を占めています。

水源涵養をはじめ、地球温暖化防止に資する観点からも計画的に適切な森林整備を進めていく必要があります。

山鹿市では、森林環境譲与税を財源として、令和元年度から「森林経営管理制度」に基づく森林経営管理意向調査（アンケート）を順次実施しています。このアンケート結果を元に、山林所有者と合意形成のうえで、荒廃の進む杉、ヒノキなど人工林の整備を進めていく計画です。

このほかにも、災害の発生を未然防止するために、林道や作業道の暗渠浚渫や土砂撤去、木材運搬車など通行に支障のある危険木等の伐採をはじめ、森林作業道の舗装材料（生コンクリート）支給などにも取り組んでいます。

※なお、令和6年度からは、国民一人あたり1,000円/年の森林環境税が課税開始されています。

令和5年度森林環境譲与税額	38,128千円
令和5年度基金積立金	0円
基金残高	27,100千円 (R5.3までの基金残高)

□ 森林経営管理制度に基づく意向調査 〈事業費〉4,571千円

〈第1回目〉 61千円 上吉田地区簡易現地調査結果報告及び対象森林の隣接地データ抽出

〈第2回目〉 2,860千円 上吉田・麻生野・平山地区意向調査再送、再々送発送及び簡易現地調査

〈第3回目〉 1,650千円 鹿北町芋生地区対象森林抽出

□ 林道・作業道補修支援 〈事業費〉23,611千円

・林道、作業道の支障木伐採 4,168.5m 3,940千円 ※詳細は別添参照

・林道、作業道の暗渠浚渫及び土砂撤去 17ヶ所 3,789千円 ※詳細は別添参照

・未舗装林道、作業道のコンクリート舗装（原材料支給）31路線 2,476m 15,882千円

□ 山鹿市産木材の家づくり推進事業ほか 〈事業費〉9,946千円 19件

■ 森林環境譲与税導入の効果

令和5年度の委託業務で抽出した芋生地区内の5条森林のうち人工林の所有者を対象に、令和6年度は森林経営管理意向調査（アンケート）を実施します。また、上吉田・麻生野・平山地区では、令和5年度意向調査アンケート結果をもとに令和6年度に現地確認調査を実施する計画です。

また、林道・作業道の土砂撤去や暗渠浚渫を継続実施してきたことで、豪雨による大規模災害の発生を未然防止することができています。さらに、生コンクリートなど舗装材料の支給支援によって、補修整備が完了した路線では木材運搬車などの円滑な通行が確保できています。



(支障木撤去)



(暗渠等浚渫)



(コンクリート舗装)